

代表者名	佐藤 孫一	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	秋田市山王3-8-15	設立年月日	昭和28年6月16日

【沿革及び県の出捐理由】

中小漁業融資保証法に基づき、中小漁業者等の漁業経営に必要な資金の融資を円滑にするため、系統金融機関が行う中小漁業者への貸付に対して債務保証を行うことを目的に昭和28年設立され、目的達成支援のため出資。

【出捐者】(18年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	153,150	43.7
市町村	7	42,450	12.1
その他	65	154,600	44.1
計	73	350,200	100.0

【事業】

主たる業務

信用補充業務
中小漁業者が系統金融機関から資金を借入する際の債務保証をすることを通じて中小漁業者の発展に寄与する。

事業実績

(百万円、件)

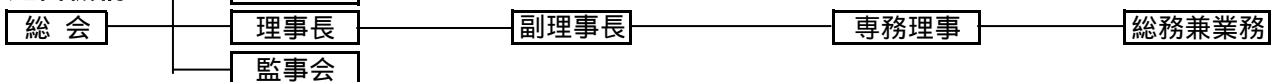
事業名等	15年度	16年度	17年度
保証残高	900	936	835
保証件数	130	165	160

17年度事業概要及び18年度事業計画・目標

17年度	保証業務	新規	67件	260百万円	求償権回収	128万円
18年度	保証業務	新規	100件	422百万円	求償権回収	99万円

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	理	事	監	事
常勤		1		
内、県OB				
非常勤		8		3
内、県OB				
内、県職員		1		
計		9		3
内、県関係者		1		0

職員数

(人)

	人数	備考
正職員	1	平均年齢
内、県OB		48歳
出向職員		
内、県職員		
臨時・嘱託	1	正職員
内、県OB		平均勤続年数
計	2	30年
内、県関係者	0	

【財務】

損益状況(17年度)

(百万円)

	金額
経常収入 A	15
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	6
運用益収入	8
その他	1
経常支出 B	27
人件費	21
その他	6
経常損益 C = A - B	-12
経常外収入	13
経常外支出	13
当期損益	-12

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額

財務状況(17年度末)

(百万円、%)

	金額	構成比
流動資産	2,440	99.0
固定資産	24	1.0
資産計	2,464	100.0
流動負債	1,912	77.6
短期借入金	251	10.2
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	32	1.3
負債計	1,944	78.9
基本金	350	14.2
剰余金	170	6.9
資本計	520	21.1
負債・資本計	2,464	100.0

(千円、%)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	19,704	19,704	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	15年度	16年度	17年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	15年度	16年度	17年度	15-16増減	16-17増減
健全性	自己資本比率	%	20.50	19.87	21.10	0.63	1.23
	借入金依存率	%	9.60	9.37	10.20	0.23	0.83
	流動比率	%	128.69	125.72	127.66	2.97	1.95
収益性	剰余金（欠損金）	千円	195,284	181,979	169,734	13,305	12,245
	経常利益率	%	6.57	80.46	82.08	87.03	1.62
	総資本利益率	%	0.07	0.47	0.51	0.55	0.04
発展性	経常収入額	千円	30,220	15,707	15,281	14,513	426
効率性	総資本回転率		0.01	0.01	0.01	0.01	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	10,073	5,236	7,641	4,838	2,405
	人件費比率	%	66.60	130.95	134.92	64.35	3.97

2 経営目標の達成状況

経営目標			15年度	16年度	17年度	18年度
経営改善指標	自己資本比率（%）	目標	21.25	21.50	21.75	22.00
		実績	20.50	19.87	21.10	
事業成果指標	事業管理費（千円）	目標	26,696	26,700	27,000	24,000
		実績	25,091	25,037	24,323	
事業成果指標	債務保証額（千円）	目標	908,978	900,000	900,000	900,000
		実績	900,096	936,153	835,371	
事業成果指標	求償権回収額（千円）	目標	1,030	1,050	1,100	1,100
		実績	2,000	1,003	1,286	
顧客満足度指数		目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成12年度以降経営改善に取り組み、14、15年度は僅かながら黒字計上できたが、未だ改善計画の柱である県及び業界等からの支援計画が実現に至らず、また、国内の超低金利政策の継続により基金運用収入が増えず、17年度は16年度に引き続き赤字計上となった。保証引受については、漁業者等の設備投資による資金需要が依然として手控えられているが、運転資金の資金需要は比較的安定している。また、代位弁済事故は幸いにも2年間なかった。一方、求償権の回収については、計画以上の回収実績となっているが、回収金額が小額となっている。

今後も、漁業者等の資金需要に安定的に保証対応できるよう、効率的な基金運用と保証の拡大を図りながら経営基盤の強化に努め、可能な限りの経営改善により事業を推進していく。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
基金の運用収益が望めない状況において、漁業者等の設備資金は望めず、僅かに後向き資金としての運転資金に対する保証が実績となっている。今後は、不良債権が発生しないようリスク管理が必要である。	